



シャープ社友会
広島支部会報
ひびき第40号

主要記事

- 1面 春夏秋冬
- 2面 地区委員会 & 懇談会動向
地区委員報告
- 秋の旅行ガイドランス
役員会日より

4~7面 HOW DO YOU DO
社友短針

投稿 「花火と戯れる」
新入会員のご紹介
支部行事予定 編集後記



『実感のある日々を！』

広島支部副支部長 中野 英勝

ついこの間までの暑さを忘れる、さわやかな気候となり、家に閉じこもっているにはもったいない時季を迎えました。

しかし、何事をするにも「健康」で元気でいる事が一番であり、毎日を送れる事に感謝です。

話は変わりますが、今日、テレビ・新聞では毎日の様に親が子を、子が親を虐待/殺害する事件の報道が後を絶ちません。なげかわしい限りです。私には詳しいことは分かりませんが、学校教育、家庭環境、社会を取り巻く環境、更には政治問題などが根底にあるのではないかと思えます。この様な事件が一日も早く無くなる様、願うのは私一人だけではないと思います。

さて、月日の経つのは早いものです。定年になり3~4年があつという間に過ぎました。

何かしてもしなくても時間は過ぎて行きます。二度とない人生です。毎日が生まれて来て良かったと言える日々を送りたいと思っています。皆さんも同じではないでしょうか。

私は退職後心掛けていることは、毎日を漠然と過ごすことのない様、現役時代の習慣を今でも続けて大学ノートに(月間)(週間)毎に主な計画(目的/目標)を立てて、趣味/行事/家事などを実践し、少しでも充実感のある日々を送るよう、自己満足ではありませんが行っています。

社友会の活動もその一つです。以前にも言いましたが、特に社友会の各同好会活動は、人と人との交流を深め、現役時代とは違った多くの友人が出来、時には沈んでいる心を晴らし元氣付けてくれます。

人は年齢を重ねていくと知らず知らずのうちに家に閉じこもりがちとなり、話し相手(友人)も離れテレビばかり見ていると、のんきな様でもいつか知らずにはボケになると言われています。

ぜひ同好会活動に参加され楽しくやりませんか。最後になりましたが、前回同様にある機関紙に・なるほど・と思わせる文面が記載されてましたので紹介して終わります。

【幸福への道を歩む人】

- あいさつ できる人
- 早起きする人 熟睡できる人
- 感謝して真剣に努力する人
- 仕事を趣味にして能率をはかる人
- 義務も責任も進んで果たす人
- 時間を守る人 礼儀正しい人
- 言うこととする事が一致する人
- 信頼できる人 融和を図る人
- 人も自分を尊敬できる人
- 常に反省し素直に改める人
- 何事も善意に解釈する人
- 注意深い人 決断の早い人

【不幸をつくる人】

- あいさつ できない人
- 心の暗い人 不愉快に暮らす人
- 絶えず不満や愚痴の多い人
- やる気が無く 怠け癖のある人
- 無責任な人 法規を守らぬ人
- 時間物も無駄にする人
- ものごとを過大に話す人
- 陰口が多く人の和を乱す人
- 卑下する人 自身なく焦る人
- 信仰心がなく自我の強い人
- 神仏に無理な願いをする人
- 心が狭く すぐ腹を立てる人
- 暴飲暴食し自分を粗末にする人
- お金を浪費し賭け事をする人
- 服装が乱れている人
- 悪友も道楽暇も多すぎる人
- 公徳心なく迷惑を掛ける人
- 利己的気まま 自分本位の人
- 迷いも取越し苦労も多い人
- 欲の深い人 自惚れの強い人
- 依頼心の強い人 苦勞に負ける人
- 家族愛に乏しく 愛国心を持たない人
- 義務を忘れ 権利ばかりを主張する人
- 貴重な一生を無為に過ごす人

幸福は自分自身の行いで掴むもの

地区委員会 & 懇談会動向

企画担当(地区委員担当)幹事 山根 行雄

初秋の候、会員の皆様、お元気にお過ごしのことと存じます。

「地区委員制度」の運用と支援を担当させて頂いて、早くも1年半近くになります。

地区会員も8月末現在、総数63名と増えてまいりました。(広島28名、福山7名、山口6名、山陰7名、岡山7名、四国8名)。

広島・福山地区の地区委員を兼務しながら、中四国地域に在籍中の職務(営業、サービスなど)関係で退職後も、そのまま、在住されて居られます皆さん会員相互の連携を促進するため、山口、山陰、岡山、四国地区の4名の地区委員の方々のご協力を得て、地方の会員相互の交流活動、情報の提供など通じて、社友会の連絡役に徹して、会員皆様のご意見を支部へ、また、各地独自の活動の企画のご支援に努めている所です。

今春、4月8日、米子での「山陰地区会」に続き、山口地区の社友会員や、地区委員の松田正弘さん、越智光夫さんが中心になり、「山口地区特会」の位置づけで、企画し、準備を進めてこられた「山口シャープOB会」の開催が、来る10月14日、山口市の湯田温泉で、親睦会を兼ねて、実施される運びとなりました。

また、広島・福山地区では、12月9日 広島JAL CITYホテルにて、広島ビルOBメンバー60名余りが集い、親睦交流を図る「第3回 広島ゆうゆう会」が開催される事になりました。

岡山地区では今夏、8月20日、社友

会員と非社友会員合同(17名)で、『たけの森』で親睦ゴルフコンペを実施、年末には合同親睦会を開催予定で親交を深めます。

また、山陰地区も、米子(大山)で、11月4日に、山陰地区OB会の開催し親睦と交流をはかります。

四国地区は、4県下と広範囲で、地区委員の谷井一夫さんと連絡をとりながら、他地区の取り組みを参考に、4県の地区連携ネットワークの構築に向け、各地区での側面支援できる社友会会員(委員補佐役)も必要であり、現在、各会員に呼びかけ、松山地区での、「OB交流会」開催を計画中です。

地区委員報告

山口地区委員 松田 正博

朝夕、めっきりすずしくなり、秋の気配が感じられるこの頃ですが、社友会の会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか？

山口における会員の活動は計画立てるも天候不純等で、実行できていませんが、このたび、10月14日に山口シャープOB会を企画しました。

今、準備に追われる毎日です。山口の湯田温泉で行う予定です。出席は30名前後です。いろいろな企画で盛り上げるつもりです。

準備委員は私と越智光夫さんです。ぜひとも成功させたいと頑張っています。

今後とも、地区委員と連携を密にして、対処して、行きたいと考えています。

私は、今春から、社友会・同好会の「ダンス、スポーツ」に加え、「あるこう会」に参加、健康増進と親睦に向けて1~2回ウォークを会員の方々と一緒に、楽しんでいきます。

又、広島地区会員3~5名の仲間と、登山や、海水浴や、講演会に、出かけて、積極的に交流を図っています。

人と人とのご縁で、何か「ちから」を得て、「第3の人生」をおくる昨今です。

これからも、微力ですが、会員の皆さんと、力あわせ、頑張っ参りたいと存じます。宜しく、お願い申し上げます。

個人的には、水泳の競泳で、マスターズの山口大会に出場しました。

残念ながらタイムは平凡でしたが、充実した一日でした。(8月20日)。又来年も頑張るつもりです。

8月より、仕事を始めました。梨園で出荷の仕事をしています。今、最盛期でたいへん忙しくしています。

しばらく仕事を、遠ざかっていましたので、慣れるまで大変ですが、楽しくやっています。

以上、近況まで報告いたします。社友会の皆様の活躍をお祈りいたします。

秋の親睦旅行ガイドンス

旅行日程 11月15日(水)~16日(木) (9月30日締切)

行き先: 柳川舟下り散策・有田焼展示場・吉野ヶ里歴史公園・

大宰府天満宮・九州国立博物館見学など。 嬉野温泉(佐賀)宿泊

参加費用: 24,000円

集合場所&時間会社: 第三工場

午前7時50分

東広島中央公民館

午前8時00分

帰着時間:

午後7時30分(予定)

今回の『旅のテーマ』は『九州の温泉・史跡建物・紅葉の自然を楽しむ旅』をゆっくりコースでゆく。

役員会だより

対象期間： 2006年7月～8月

代表幹事 相馬 實

* 招待会員への対応

社友会会員のご主人を亡くされた奥様より、引き続き各種資料、情報の提供を求められた件での調査・審議の結果を参考にお知らせします。

本社見解：会員の死亡は会員資格の喪失であり、MADO配布や訃報連絡等は継続できない。

広島支部：基本的には本社見解を踏襲し、ひびき配布やメールでの各種情報提供は出来ない。

但し、広島支部としては会員の奥様は招待会員として、同好会活動・親睦旅行への参加は認められており、会員死亡後も申込書の提出によりこの権利は継続する。

なお本部・支部のホームページを閲覧するのは自由であり、ここより各種情報が入手できる。

* ホームページ掲載の“ひびき”閲覧問題

本年1月より広島支部ホームページに“ひびき”（現在1月号、4月号、7月号）を掲載していますが、これらの中で一部閲覧できないパソコンがあることが判明しました。

対策結果を役員のパソコンで確認の結果、問題は解消したと判断しました。

皆様も確認方々ご覧願います。

なお既に連絡しておりますが、9月より広島支部ホームページのURLが変更になっています。

* 秋季親睦旅行の審議

企画担当幹事より各種提案された事項につき、審議の結果、今年は九州方面に決定しました。

日時：11/15(水)～11/16(木)

内容：嬉野温泉と柳川船下り

詳細は既に連絡していますので、参加申し込みをお待ちしております。

* デジタル複合コピー機の導入

社友会業務の効率的運用を図るためデジタル複合コピー機の導入を検討してきましたが、8月に導入を完了しました。本機は通常のコピーはもとよりFAX・プリンター・スキャナー等の機能を有し、パソコンよりのコントロールや両面コピーその他、いろいろな機能があります。

今まで“ひびき”や定期総会資料のコピーは労組のコピー機を借用していたが、これが自前で出来るようになり、多大な労力の節約にもなります。これらを含め業務の効率化を図って行きます。

* 配布資料受取

長い間受取りに来られない方がおられます。

折角の資料ですので月に一度は社友会室にお出かけ下さい。

既にご連絡の通り、3ヶ月を経過した資料は処分しますのでご注意願います。

* 会員数(7/24現在) 3,167名

本部： 2,157名

栃木： 251名

東京： 452名

広島： 222名

九州： 82名

以上

広島支部からのお知らせ

広島支部のホームページURL及びメールアドレスは9月より変更されています。

ホームページURL：shayukaihro.web.infoseek.co.jp/sibu/index/index.html

メールアドレス：shayukai-hro@bz01.plala.or.jp

ゴルフ

ガマンのゴルフ・・・
その甲斐ありのレベルアップ

第92回コンペは例年の梅雨明けも台風3・4号の通過と梅雨前線の影響もあり遅れ、毎日が雨予報で気の揉む当日でしたが、朝のスタートからプレイ中は雨も無く幸運でした。

2ヶ月前のリベンジコースとして再挑戦でしたが、梅雨のコースコンディションは甘く無く、ゴルフテクニクの正確さの勝負の様で、「次への励み」となったプレイだった。

ダントツ優勝は7アンダー、グロスでも1オーバーで、その為の事前ラウンドを重ねた結果とのコメントでした。

今月から黒田さん、岩垣さんの加入もありました。

第93回コンペは一年振りの会場で残暑厳しい戦いである。

メンバー会員の多いこのコースはホームグラウンドコースとして有利の様ですが、今年の梅雨の長引きと急激な暑さ続きで、グリーン表面がのり状のところが多くパターに泣き、落とし穴ホールで苦しみ等の跡が伺えるプレイだった。

いつも思うのですが、プレイ後は「悔しさと反省があるから進歩ある」を信じて次回で楽しみましょう。

第94回コンペは秋雨前線と台風13号の接近を前にして、今週毎日が雨予報だったが、日々変わる予報で当日のみが晴れのラッキーで気候も爽やかなコンディションとなった。

成績は素晴らしい7アンダーを筆頭に6名のアンダーパーでネットスコアーも全員が二桁内に収まり、前回のリベンジとも言えるレベルアップの跡が伺える。

次回コースが変わればこれを維持できるか、次回が楽しみです。

平成18年度第4戦～第6戦の成績

(NETスコア)

第92回コンペ 7/18安芸GC			第93回コンペ 8/24朝日GC			第94回コンペ 9/14竹原GC		
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	山口(剛)	-7	1	勝山	0	1	清田	-7
2	鈴木	-3	2	山内	+1	2	原田	-7
3	松本(邦)	-2	3	鈴木	+5	3	前田	-3
4	小谷	-1	4	高見	+5	4	吉田	-3
5	清田	0	5	伊野部	+5	5	御船	-3
6	原田	+1	6	谷口	+6	6	岩垣	-2
7	谷口	+2	7	猪飼	+6	7	出口	+1
8	嵐	+3	8	広瀬	+6	8	湯浅	+1
9	車角	+3	9	清田	+6	9	徳永(文)	+1
10	勝山	+3	10	長谷川	+7	10	宮谷	+1
11	出口	+4	11	佐々木	+7	11	杉山	+3
12	広瀬	+4	12	嵐	+8	12	広瀬	+3
13	猪飼	+4	13	出口	+8	13	山本(博)	+3
14	杉山	+4	14	車角	+8	14	相馬	+3
15	中西	+5	15	牛田	+8	15	伊藤	+4
16	明石	+5	16	山口(剛)	+9	16	伊野部	+4
17	堂本	+5	17	吉久	+9	17	森本	+4
18	高見	+6	18	岩垣	+9	18	松本(全)	+4
19	湯浅	+6	19	小谷	+10	19	田村	+4
20	伊藤	+6	20	山本(博)	+10	20	山内	+5
21	丸山	+6	21	丸山	+10	21	山本(善)	+6
22	宮谷	+6	22	山田(晃)	+11	22	新宅	+6
23	黒田	+7	23	杉山	+11	23	井上	+6
24	山田(晃)	+8	24	山本(善)	+11	24	山口(春)	+7
25	森本	+8	25	津郷	+11	25	猪飼	+8
26	伊野部	+9	26	井谷	+12	26	勝山	+8
27	山口(春)	+9	27	相馬	+12	27	河上	+8
28	岩垣	+9	28	田村	+13	28	嵐	+9
29	山内	+10	29	山口(春)	+14	29	高見	+10
30	山本(善)	+10	30	奥村(恭)	+16	30	中西	+11
31	井上	+10	31	松本(邦)	+17	31	明石	+11
32	津郷	+10	32	西尾	+28	32	西尾	+13
33	井谷	+11	33	樫見	+38	33	吉久	+13
34	長谷川	+12				34	佐々木	+14
35	新宅	+12						
36	御船	+12						
37	河上	+12						
38	西尾	+14						
39	樫見	+16						
40	吉田	+16						
41	奥村(恭)	+16						
42	吉久	+17						
43	相馬	+20						
	QJ7/IN		QJ7/IN		QJ7/IN			
	高見/車角		岩垣/高見		宮谷/ドロ-			
Nビ	杉山/山口(剛)	Nビ	小谷/山口(剛)	Nビ	杉山/伊野部			
	出口/松本(邦)		清田/山内		原田/伊藤			
	湯浅/堂本		広瀬/山内		中西/湯浅			



第92回コンペ入賞者
中 優勝 山口(剛)さん
左 2位 鈴木さん
右 3位 松本(邦)さん



第93回コンペ入賞者
中 優勝 勝山さん
左 2位 山内さん
右 3位 鈴木さん



第94回コンペ入賞者
中 優勝 清田さん
左 2位 原田さん
右 3位 前田さん

あるこう会

今年も大盛況！
そうめん流し&バーベキューウォーク



野呂山にて

毎年恒例のあるこう会年間活動として最大イベントを、呉市野呂山頂(839m)オートキャンプ場で参加者34名プラス幼児2名にて実施した。
現地まで8台の車で定刻に集合を予定していたが、途中道路工事に遭遇、また一部のドライバーが予定のドライブコースを外れて遠回り、現地集合時刻を40分オーバーした。
更に台風の影響によるフェーン現象で早朝から気温が既に30度まで上昇

午前中の涼しい内に野呂山の高原コースのウォーキングを予定していたが、身体の安全を考慮して、熱中症を避けるため残念ながらウォーキングは中止した。
早速オートキャンプ場の樹木が茂った木陰で、そうめん流しとバーベキューの支度に取り掛かった。
軽トラックに積んだ材料を参加者全員で手際よく着々と捌り、テント張り、ブルーシート敷き、そうめん流し器設置があっという間にイベントの舞台が完成した。
早速そうめんを茹で、会員が釣った新鮮な魚、会員が家庭菜園で育てた新鮮な野菜の料理が出来上がった。
さらにバーベキュー用の炭火とガスコンロ等万事整った。既に魚と焼肉の焼く匂いが漂い、早くも冷えたビールを飲んでご機嫌なメンバーも居た。
続々と料理が出来て、手づくりおにぎり、家庭の美味しい味の漬物をご馳走になった。「ああ！美味しい」この漬物のレシピ教えての声も彼方此方から聞こえた。後は恒例のそうめん流し器を囲み特製の出し汁にかち氷と薬味を入れ、野呂山の冷たい井戸水を流して、美味しいそうめん流しを楽しんだ。
デザートはアイスクリーム、更に冷めたいコーヒも出て涼味を味わった。
皆で和気藹々と語り合い楽しい一時を過ごして野呂山を後にした。

囲碁・将棋

「風貌からして強そうな」

つい先日まで、今年は例年にも増して暑いな~と思っている間に九月、入った途端に凌ぎ易い季節なってきました。

さて囲碁の方は数ヶ月前から、定例活動日には風貌からして囲碁の強そうな、榎見さんが顔を出してくれるようになりました。

そこで一局お手合わせ、という事で対局してみますとやっぱり力が違いました。途中で筆者が投げ出したくなったり、そこまでいかずとも力の差は明らか！彼は地域の囲碁クラブのメンバーとの事で、どうやら地域で大活躍の様子ですが、更に伺うと『地域のメンバーの中では俺より下はないよ！』との事。

私も毎月活動をしてはいるものの、一向に上達せず悩んでいます、当面は参加者が少なくとも、活動を継続



河上さん(左)
vs
山口さん(右)

し、囲碁、将棋の好きな方が、いつでも参加頂ける様な状況だけは維持していこうと思っています。

九月はいつもの河上さんとの対局、力量が“ちょぼちょぼ”。囲碁、将棋は頭のリフレッシュに持って来い！

皆さんもどうぞ、毎月第一月曜日、十時半、社友会室を覗いて見てください。

ダンススポーツ

「いろいろな曲で踊ってみよう」

前回以降、他所のダンスパーティーにも対応するため新しいステップを追加練習すると共に、練習用ダンス曲も同じものの繰り返しでなく、ランダムに流れてくる曲にも慣れる様、新しい曲を約40曲用意して練習しています。

12月恒例のダンスパーティーも、今年から趣向を変えて、他所のダンスグループと合同で、ダンス中心の時間にしようと考えています。

決まり次第、例年のようにご案内しますので、今年も多数ご参加くださいます様よろしくお願いします。

写そう会

瀬戸内の夜景撮影で
長時間露出の難しさと華やかさを実感

7～8月の撮影会では「暑い夏」を満喫。

- * 廿日市極楽寺山(蛇の池)「睡蓮」
- * 三原やっさ祭り花火大会の「花火」と「瀬戸内の夜景」

今年度から月例会と撮影会を並行開催する事とした為、撮影会の回数が大幅に増加しています。

7月は「睡蓮」で有名な廿日市極楽寺山の蛇の池に行き、色とりどりの睡蓮と鯉をセットに撮影を楽しみましたが、睡蓮の花と鯉の動きを絶妙に描くシャッターチャンスを捕える事は至難の業の様です。



作品講習会(品評会)

続く8月は三原やっさ祭り花火大会を舞台に撮影会を開催し、夏の風物詩「花火」を満喫した後、近くの竜王山での「瀬戸内の夜景」撮りを体験。

花火撮影会では初体験で構図取りや花火炸裂のタイミングを計るのに苦労した人、今年もオリジナルのカメラ治具を活用して花火の軌跡を狙う技巧派も出揃って大いに盛り上がりました。

瀬戸内の夜景撮りは長時間露出となる事から、露出時間の兼合いと数少ない船の航跡チャンス如何に上手く捕らえるかが、作品の出来栄えに影響してきます。

9月の作品講習会ではこうした「夏」の作品を中心に個別に撮影した力作を持つ。



東広島合同写真展会場 - 1



東広島合同写真展会場 - 2

ち寄り、自由闊達な意見交換を行う中で「長時間露出」撮影の難しさと華やかさの両面を実感しました。

こうした年間を通して撮影した作品を基に、昨年に引き続き、東広島写真クラブの8団体で構成する東広島合同写真展(東広島市立美術館、期間:9月13日～24日)に写そう会メンバーとして12名(出展数24点)が出展し、地域との活動交流を図ると共に、他の写真クラブ会員の出展作品を鑑賞する良い機会を得ました。

10月は会員アドバイザー佐藤さんによる「夜の長時間露出」をテーマにコーチ撮影会を開催し、写真を楽しみながら新しい発見を追い求める予定です。

(谷水)

グラウンドゴルフ

局部的雨にびっくり

今年の梅雨明けは遅れて異常気が続きました。

同じ市内であっても大変な雨が降るかとおもえば一方で「雨なんか知らないよ」と言われた事が一回や二回ではなかった。

なかでもきわめつけは九月八日、当日はグラウンドゴルフ同好会の例会日でした自宅を出たときは何でもなかったのですが、会場である第三工場に近づくにつれ雨模様となり、保安室横に着いた頃はうまいことあがってきた。

しかし回りを見渡すとあちこちに水溜りができている。保安担当者にグラウンドをちょっと見たい旨を告げると、先ほど濱川さんも来られたけどあきらめて帰られたとの返事。

まあ、せっかくここまで来たのだからと、グラウンドまで行って見ると乾いているではないか、これならプレーできると再び保安室へ鍵を借りに戻ると、他のメンバーや濱川さんも小幡さんを連れ添って再度登場。

久しぶりのプレー開始となり何回目かのラウンドで濱川さんが「止まり」を達成、次いで中野さんも「止まり」この回で終わりという時に小生も「止まり」を達成できて幸せな一日でした。

皮肉と言えば、一番参加率の高い水谷さんのお宅がグラウンドに近いために、雨を心配してお休みされたことです。



釣り

船頭おすすめ
「メバルの半夜釣り」に釣りの難しさを知る

今回はメバルの半夜釣りの報告です。普通メバル釣りは12月から4月が釣期です。

従い今回、船頭の沖田さんから「9月はメバルの半夜釣りがいいですよ」と言われた時、本当にメバルが釣れるのかと思いました。

2日に乗り合いで、小野、牛田、の3人で試し釣りに行ってきました。

竹原マリンを出て15分位で、釣り開始です。大崎島の火力発電所の煙突がよく見えるポイントです。餌は青虫の1匹付け。

水深は15〜30メートルで海底は岩です。釣り始めて15分、棚は海底から1〜3メートル竿がいきなりグイ〜と曲がりました。

船頭さんから今のメバルは食いが浅いので竿の柔らかいので、かすかな当りを見るのがコツだと云われていました。

いきなり竿が入ったので、びっくり。釣れたのは27センチのメバルでした。

小野、牛田、さんにも次々と当りがきました。

今の時期に、こんないい型のメバルが釣れるとは思っていませんでした。大きいので感動しました。ダブルもあり、大漁でした。・・・と言うのが「試し釣り」の内容です。

「本番」は15日(火)午後5時半に竹原マリンを出航、今回の参加者は9人。

7人の予定でしたが今の時期メバル釣りにあつて9人になりました。9人は多

いのでこれからは7人位が適当ではと思います。

出てから15分釣り開始です。このポイントに近いのがいいですよ。みんなメバルの半夜釣りの経験はあまりないので当りと合わせが難しい様です。ボツボツと釣れはじめました。釣れた、大きいぞの声です。

ところが、天気が悪いのは分かっていたましたが雨は降らないと思っていました。だが最悪の雨が降ってきました。1時間くらいで雨は止みましたが、今ひとつ気が乗りません。

11時に納竿、釣果は多い人で20匹、少ない人で10匹、平均15匹でした。

「試し釣り」は良かったのですが、15日はいまひとつでした。釣りの難しさを感じ知らされました。

次はいつ、何を釣ろうか、楽しみです。



釣人は落着きが肝心

ボウリング

7月大会(第31回)
「出口 昌孝さん優勝」



釣りって楽しいね！ V!

7月22日(土)第31回大会は24名(社友会16名、紅葉会3名、会員夫人5名)の参加で大会を実施。多数参加者の競技で大いに盛り上がる結果を得た。

成績は日頃努力されている『出口昌孝さん』が618点(3ゲーム)の高得点で優勝された。

(準優勝)初参加の村上孝一さん、685点(第三位)家族会の牛田峰子さん、610点。

今大会は四位までの方が600点以上のハイスコアで優秀な成績を勝ち取られた。

又、ハイゲーム賞は次の方々が手中に取められ、日頃の練習成果を披露された。

- 男子の部 村上孝一さん 252点
- 女子の部 出口起世子さん 218点



当同好会は2006年度よりさらに体力、技術向上のため、月例会、大会でのゲーム数を増やし、3ゲーム合計の競技とする。

また、月例会実施は毎週第3金曜日。大会は年4回計画とし、頑張っております。

ボウリング同好会
06年7月大会参加の皆さん

社友短針

投稿

「花火と戯れる」

写そう会会員 辻 重樹さん

花火の季節がやってくると「今年こそ花火を見事に撮ってやろう」と、花火師の芸術を如何にカメラマンの芸術に置き換えるか、色々と思いを巡らせながらこの時期を迎えます。
然しながら、花火と周辺の綺麗な風景を組み合わせた写真は数多くあり、どこを撮ってもそれ以上の写真を撮るアイデアが浮かばず、結果的に他人と同じ写真になってしまふことを常日頃から痛切に感じていました。

新入会員のご紹介

平成18年7月1日～9月末まで入会

いのうえ あきひさ
井上 昭久さん No.3557 シヤ-プ マリアケヤリング システム (株) 管理部

みなみ きよまさ
南 清正さん No.3558 SEK FS 企画推進部

すがさき ひでお
菅崎 英雄さん No.3564 AVシステム(事本) デジタ行イ7(事)第二技術部

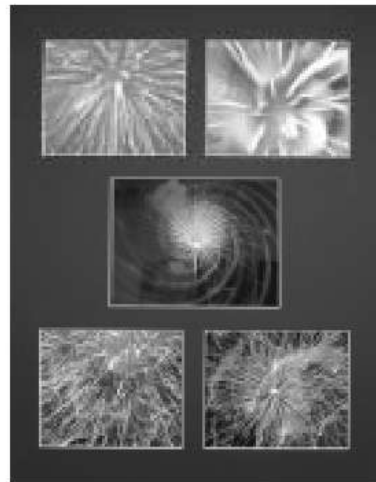
かめやま ひろみ
亀山 弘美さん No.3587 部品)三原[科半S] LED事業推進センター

たい まさはる
田井 正治さん No.3621 シヤ-プ アア付込(株) パ-ナル(営)東広島駐在

9月末現在 広島支部会員数 225名

そこで在職中に身に付いたオンライン精神で、「何とか他人と違う花火の写真を」と思慮していた時に、某カメラ雑誌で花火を露光中にカメラの回転やピントずらしを行い、実際の花火の美しさとは異なる美しさを表現した作品に出会い、「求めていたのはこれだ!」と直感。
早速、カメラやレンズに加工を施し、県下の数多くの花火大会に足を運び、花火の炸裂にあわせてシャッター開き、ズーム、カメラの回転、ピントずらしの撮影をおこない、試行錯誤しながらも今までにない写真を撮ることが出来ました。
その中より5枚を組写真にして、今年の東広島市美術展に応募したが、上記の写真であり、お蔭で奨励賞を戴くことが出来ました。

2005年東広島市美術展
奨励賞受賞作品
「宙華」



撮れる事が多いので、数多く写す必要がある事から、今年はデジタルカメラに変えて花火会場を隈なく廻り、撮影枚数も今年だけで約千四百枚になるほど花火撮影を楽しみました。

今年は花火の線と光線の描く形に拘り、昨年とは違った作品を狙いました。花火はなかなか本当の姿を写真には撮らせてくれない難物だけに、これからも花火写真の面白さを追求して行きたいと思えます。

これらの作品の一部は写そう会のホームページに掲載されていますので、会員の掲載写真を楽しんで戴くとともに、ご意見をお聞かせ戴ければ幸いです。

参考)写そう会ホームページ
(http://

shayukai.hiro.web.tfossek.co.jp/
fusunokai/index.htm)の「第16回 東広島合同写真展出品」、「9月度 講評会作品」、「コンテスト入賞作品」の各ページに掲載。

広島支部行事予定 10月～12月

- 10月27日(金) 定例役員会
- 11月15日(水) 秋季親睦旅行 1日目
- 11月16日(木) 同上 2日目
- 11月24日(金) 定例役員会
会社幹部との懇談会
- 12月22日(金) 定例役員会

編集後記

◇ひびき第四十号をお届けします。創刊から四十番目の節目の号になります。構成的には新鮮味の無いのが気になります。

◇写そう会の辻さんから投稿を頂きました。

花火の写真は夏の風物詩として良く被写体になりますが、他とひと味異なる良い写真にする為、試行錯誤を重ねられた経緯です。

研究熱心な辻さん、これからも花火写真の面白さを追及して行くそうです。